

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 20 日

事務事業名		療育相談事業 (ことば・発達相談)				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010203000345
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	040401
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進				主要事業		健康推進課	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				市長マニフェスト			
	施策名	02 健康づくりの推進				未来PJ事業		グループ	
	手段名	03 ③母子支援体制の充実				合併建設計画事業		母子	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	01	03	00	母子衛生事業		
法令根拠		母子保健法				単年度繰返し (平成18年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
H19年度より、NPO茨城県ボーテージ協会に事業委託。対象は、乳児から小学校就学前で各健診や相談で発育・発達面で気になる親子や医療機関や保健所等から発達の遅れて紹介のあった児。 事業は個別と集団がある。個別指導は月1回1人1時間、チェックリストに基づき指導。集団指導は月2回で、親子遊びや工作などの体験作業を中心に実施している。 H29年度より集団は休止し、個別指導のみ実施中。 H27年度より発達相談事業を月1回実施。	事業内容の企画検討。対象者への参加勧奨、事業終了後の話し合い、報告書作成、関係機関や就学指導委員会との連携、経過観察児への事後支援。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
事業内容の企画検討。対象者への参加勧奨、事業終了後の話し合い、報告書作成、関係機関や就学指導委員会との連携、経過観察児への事後支援。	開催回数	回	51.00	42.00	51.00	51.00	51.00
	参加児 (延)	人	200.00	170.00	200.00	200.00	200.00
		人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
発達や情緒面、親子関係等経過をみる必要のある児と保護者	発達や情緒面、親子関係等経過をみる必要のある親子	人	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
発達障害児や発達障害の疑いのある児が早期に療育を受けられる。問題行動が落ち着き、地域で生活がおくれる。	問題行動が落ち着きことばの相談室終了となった人数	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	期間限定総投入量
量	事業費	国庫支出金	0	0	0			0
		県支出金	0	0	0			0
		地方債	0	0	0			0
		使用料・手数料	0	0	0			0
		その他	0	0	0			0
		一般財源	1,027	1,173	1,014			0
	事業費計 (A)	1,027	1,173	1,014			0	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			
	述べ業務時間	時間	465.00	253.00	253.00			
	人件費計 (B)	千円	1,360	740	740			
トータルコスト (A)+(B)		千円	2,387	1,913	1,754			

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
	科目	金額		科目	金額	
	08 報償費	143		08 報償費	156	
	11 需用費	3		13 委託料	858	
	13 委託料	1,027				
	合計	1,173		合計	1,014	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	療育相談事業（ことば・発達相談）	事務事業No.	10203000345	所属課	健康推進課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
昭和57年、ことばの遅れがある子が増加してきた。また、住民でダウン症の子が下妻社会福祉協議会開催のポーター教室に参加しているので町で開催してほしいとの希望あり。昭和58年から旧岩瀬町で開催し、合併後も継続している。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
身近な場所で、専門家による市主催の療育指導が受けられてよい。同じ悩みを持つ保護者同士の交流ができる。またことばの相談室を通して、早期に学校教育課に就学の相談ができたことで早くから考えることができよかったとの意見もあった。学校教育課からも保護者と早期に面接ができ就学指導がスムーズにしているとの声もあった。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	ことばの相談室（集団指導）を休止し、その分の回数をことばの相談室（個別指導）の回数にあてていく。 就学指導委員会をとおし各保育所・幼稚園等に市主催のことばの相談室・発達相談の事業内容のPRを図っていく。参加しない保護者には早期対応の必要性を家庭訪問や園と連携しながら継続的に支援していく。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 障害のある児やその疑いのある児と保護者が、地域で安心して生活できる体制が必要である。市の障害者計画の早期発見・早期療育の充実位置づけられている。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 発達障害者支援法で早期発見及び早期支援等、技術的援助を行うよう定められている。また、各医療機関や児童相談所、保健所と連携しながら早期支援を図る必要がある。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 連携のとりにくい幼稚園等もあるので就学児童委員会等を通してPRしていく。また、各種健診でことばの遅れ等ある児の保護者には相談室の参加推奨をするが、遅れを受容できずに参加を拒んでいる方もいるため、受容しながら療育支援をしていく。
公平性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 障害児や発達障害の疑いのある児の発見や早期支援ができなくなり、集団生活や就学後の児の抱える問題や保護者の子育てへの不安が大きくなる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 保健所の発達相談と市のことばの相談室・発達相談は、事業内容が違うので連携をしていく必要がある。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 療育指導員の専門職種の確保は療育指導の精度を高め維持するためにも必要である。人件費はポーター協会で、個別・集団指導一人当たりの指導委託単価が決定されている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 相談や健診受診時に、経過観察が必要な児については専門職種の相談に向けているので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	子ども園などに通っている児も増え、集団の場に慣れている児も多いため、平成29年度よりことばの相談室（集団）を休止している。健康診査等で、ことばの遅れや落ち着きのなさがみられる児が増加し、それに伴ってことばの相談室（個別）の参加者が増えている状況である。保護者や児と向かい合って療育指導を行う個別指導が必要である。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>